
新メカニズム情報プラットフォーム メールマガジン 第 100 号 (2015 年 11 月 2 日発行)

こんにちは。

新メカニズム情報プラットフォーム事務局です。

◇トピックス◇

■□ 事務局からのお知らせ

- 「JCM 支援事業・調査採択案件一覧」を更新
- 日・コスタリカ間の JCM に係る制度文書等を掲載
- 新メカ EXPRESS No.13 October 2015 (日本語版)

■□ 関連ニュース

- JCM による追加的な排出削減への貢献に関する考察 (IGES)

■□ 政府機関の報道発表

- 「JCM 都市間連携ワークショップ」の開催結果について (お知らせ) (環境省)
- 平成 27 年度二国間クレジット制度を利用したプロジェクト設備補助事業の採択案件の決定について (二次公募における第 1 回採択) (お知らせ) (環境省)
- 平成 27 年度「JICA 等支援プロジェクト連携資金補助事業」の公募期間延長について (お知らせ) (環境省)
- 「気候変動に係る日印政策研究ワークショップ」の結果について (お知らせ) (環境省)

◆「JCM 支援事業・調査採択案件一覧」を更新しました◆

「JCM 支援事業・調査採択案件一覧」に平成 27 年度環境省採択案件を追加しました。

ー平成 27 年度「二国間クレジット制度を利用したプロジェクト設備補助事業」(二次募集における第 1 回採択)採択案件 1 件

ー平成 27 年度「アジアの低炭素社会実現のための JCM 案件形成可能性調査事業委託業務」第 2 次公募の採択案件 7 件

JCM 支援事業・調査採択案件一覧はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.mmechanisms.org/support/adoption.html>

◆日・コスタリカ間の JCM に係る制度文書等を掲載しました◆

日・コスタリカ間の JCM に係る制度文書、承認方法論、第三者機関（TPE）、合同委員会等の情報は JCM ウェブサイト（英語）<https://www.jcm.go.jp/cr-jp> をご覧ください。

なお、規則・ガイドライン類はこちらから一括してダウンロードいただけます。（2015 年 10 月 27 日時点）（ZIP:1.4MB）

⇒

http://www.mmechanisms.org/document/JCM/costarica/JCM_guidelines_costarica.zip

また、各種用紙類もこちらから一括してダウンロードいただけます。（2015 年 10 月 27 日時点）（ZIP:1.1MB）

⇒ http://www.mmechanisms.org/document/JCM/costarica/JCM_forms_costarica.zip

◆新メカ EXPRESS No. 13「JCM の最新動向」が発行されました◆

コンテンツ：

特集 1. JCM 新パートナー国：サウジアラビア・チリ・ミャンマー

特集 2. 日本の約束草案の提出

特集 3. 平成 27 年度 JCM プロジェクト補助事業、調査案件の採択結果

特集 4. ベトナムにおける JCM 第一号プロジェクトの登録について

新メカプラットフォームウェブサイト:更新情報

新メカ EXPRESS No. 13（2015 年 10 月発行）はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.mmechanisms.org/publication/2015.htm>

◆二国間クレジット制度（JCM）による追加的な排出削減への貢献に関する考察（IGES）◆

国連気候変動枠組条約（UNFCCC）の下、各国が 2020 年以降の約束草案を提出する中、市場メカニズムの役割が重要です。このうち、JCM は、UNFCCC の究極的な目的である気候変動の安定化に貢献する、新たな市場メカニズムです。本稿では、JCM の制度構築の現状に基づき、JCM による追加的な排出削減への貢献について考察します。

ワーキング・ペーパーはこちらをご覧ください。

⇒ <http://pub.iges.or.jp/modules/envirolib/view.php?docid=6135>

◆「二国間クレジット制度（JCM）都市間連携ワークショップ」の開催結果について（お知らせ）（環境省）◆

環境省は、10月19日（月）にパシフィコ横浜において、「JCM 都市間連携ワークショップ」を開催しました。

本ワークショップには、本年度から新たに都市間連携に基づく JCM 案件形成可能性調査事業に参加した関係者を中心に、自治体、企業、コンサルタント等約 70 名が参加し、JCM 都市間連携を活用したアジアにおける低炭素都市の形成に向けた取組の実例や課題等について活発な議論が行われました。

ワークショップの概要はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/101576.html>

◆平成 27 年度二国間クレジット制度を利用したプロジェクト設備補助事業の採択案件の決定について（二次公募における第 1 回採択）（お知らせ）（環境省）◆

途上国において優れた低炭素技術等を活用して CO2 排出削減を行い、JCM に基づくクレジットの獲得を目指す「JCM 設備補助事業」について、今般、1 件を採択しました。今後、二国間クレジット制度の取組の一環として、本件を進めていきます。

なお、「JCM 設備補助事業」については、引き続き案件募集を行っています。（応募締切：平成 27 年 12 月 18 日）

<採択案件の概要>

パートナー国：ベトナム

代表事業者：日立化成(株)

案件名：鉛蓄電池製造工場への電槽化成設備導入による省エネルギー

想定削減量：2,880 tCO2/年

詳細はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/101564.html>

◆平成 27 年度「JICA 等支援プロジェクト連携資金補助事業」の公募期間延長について（お知らせ）（環境省）◆

環境省では、民間企業等による優れた低炭素技術等の導入を促進し、途上国における温室効果ガスを削減するとともに、JCM を通じて我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成に資することを目的として、「リープフロッグ型発展の実現に向けた資金支援事業」を実施します。「平成 27 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（リープフロッグ型発展の実現に向けた資金支援事業）」の執行団体である公益財団法人地球環境センター（GEC）において、「JICA 等支援プロジェクト連携資金補助事業」の案件募集を行っています。

10 月 16 日（金）まで事業者からの案件募集を行っておりましたが、この度、その公募期間を 11 月 13 日（金）まで延長します。なお、事業の概要及び応募方法に変更はありません。

詳細はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/101577.html>

◆「気候変動に係る日印政策研究ワークショップ」の結果について（お知らせ）（環境省）◆

9 月 29 日（火）、30（水）にインド・ニューデリーにて「気候変動に係る日印政策研究ワークショップ」が開催されました。主要排出国から提出された約束草案、各国の気候変動政策・対策、国際協力のあり方、気候変動に係る 2020 年以降の枠組みのあり方について、

両国の政策担当官・研究者が意見交換を行いました。

ワークショップの概要はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/101476.html>

◆メールマガジン・その他問い合わせは、事務局までメールにてご連絡ください。

info@mmechanisms.org

◆メール配信停止ご希望の方は、以下のページの「配信停止」より手続きください。

<http://www.mmechanisms.org/newsletter/index.html>

■□発行・編集□■

新メカニズム情報プラットフォーム事務局

一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 NP 御成門ビル 3 階

URL: <http://www.mmechanisms.org> / e-mail: info@mmechanisms.org

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。